

## 台風・高温に備え、田に水を入れましょう！

- 気象庁の予報によると、台風第 5 号は 7 日（月）以降新潟県に近づく見込みです。また、週間天気予報では、最高気温が 30℃以上の高温が続くと予想とされています。
- 水稻は出穂前後、また大豆は開花直後であることから、下記の対策を徹底し、台風・高温による被害軽減に努めましょう。

### 1 水稻

#### (1) 強風、フェーン現象・高温への対応

- ア あらかじめ湛水し、白穂や不稔等障害の発生防止に努める。
- イ 台風通過後は根の活力を維持するため飽水管理に戻し、根腐れを防止する。

#### (2) 大雨への対応

- ア 早急に排水路の点検・整備を行う。
- イ 河川や下流域への影響を考慮し、水尻は完全に落とさず、一定水位を保った上での排水に努める。

### 2 大豆

#### (1) フェーン現象・高温への対応

- ア 無降雨でほ場が乾燥しそうな場合は、暗渠栓を閉め、地下水位を維持する。
- イ 条間土壌が白く乾き、「朝か夕方に、最頂葉中央の個葉が直立し、ほ場全体で葉の裏面が目立ってきた場合」、排水条件が良いほ場（畝間の水を一日以内に排水可能なほ場）では、畝間かん水を行う。ほ場全体に水が回ったら直ちに排水する。

#### (2) 大雨への対応

- ア 排水経路（明きょ→排水口→排水路）を確認し、点検・整備を行う。
- イ 大雨が予想される場合は、暗きょ栓を開放する

### 3 共通（病虫害防除）

台風通過後は病虫害が発生しやすくなるため、ほ場を良く観察し、状況に応じて防除する。

- 作業中は水分を補給しましょう。体調不良時等の事態に備え、携帯電話を所持しましょう。
- 暴風時には、用排水路等危険箇所に近づかないようにしましょう。